

フローレンス 仕事・生活の両立支援



コンサル事業に参入

まず品川区で中小対象に

特定非営利活動法人（NPO法人）、フローレンス（東京・中央）は仕事と子育てなどの暮らしを両立する「ワーク・ライフ・バランス」のコンサルディング事業に乗り出した。東京都品川区から委託を受け、同区の中小企業を対象に指導を始めた。将来は他区の企業からも受託し、事例をマニュアル化して全国の企業に導入を促す。

品川区内のコンサルは、まず経営陣から経営ティングは、区がかかった費用を負担して、区内の中小企業がフローレンスから指導を受けられる仕組み。第一号として、食品のパッケージメーカーである吉村紙業への指導を始めた。

フローレンスは従業員からも話を聞き、仕事と生活の調和に向けた改善策を提案する（東京・品川）

編、業務の見直し、勤務時間の改善などについて提案する。具体的には、繁忙期の仕事を平準化して残業時間を減らしていく手法や、育児・介護休業制度を取りやすい勤務環境の整備などをアドバイスする。

中小企業は雇用者数が少ないこともあり、独力でワーク・ライフ・バランスの導入に向けた社内体制の見直しなどが難しい面がある。品川区は従業員がゆとりを持って働ける環境を整え、中小

企業の人材確保を側面支援する。コンサルティングの事例を集めて、ワーク・ライフ・バランス導入に向けたマニュアルを作成する。マニュアルを基に、コンサルティングの担い

だ。フローレンスは現在、東京都内を中心に、急に病気になるた子供を仕事を休めない親に代わって預かり病児保育サービスを中心に、仕事と子育ての両立を支援する事業に取り組んでいる。

2007年07月18日 日本経済新聞 朝刊「コンサル事業に参入」